

# 株式会社環境クリエーション

所在地：長野県須坂市墨坂南 1 丁目 20 番 3 号

連絡先：026-245-9400

担当者名：代表取締役 相原健作

担当者メール：info@kankyocreation.co.jp

HPアドレス：http://www.kankyocreation.co.jp/

## 1. 企業としての特長

昭和29年12月の創業以来地域と共に環境事業を営んで参りました。その間何回かの社名変更を経て現在の「株式会社環境クリエーション」として事業を継続し、「クリーン環境を創造する」をモットーとして事業を行ってきました。

中でも「水処理事業」にはこだわり続け、この先も水処理の進化を目指しています。また近年は養鶏事業に参入し、安全で高品質の卵の生産と販売を行っています。平成25年には社長が代替わりし、経営手法もこれまでの旧来的なやり方からの脱却を目指しています。

水を含めた環境関連の分野は、今日多くの課題を抱えています。私たちはそういった課題をできることから解決するお手伝いをしたいと考えています。まだまだ古い体質が残る会社ですが、この課題解決に向かって一緒に働くメンバーが必要と考えています！

## 2. 今後力を入れたい事業

今後は「水に関わる」事業に様々な挑戦するつもりです。水は「液体」ですが、水蒸気として捉えれば「気体」ですし、氷になれば「固体」です。そのように捉えると様々な分野での利用が考えられます。工業、農畜産業、そして「アクアポニックス」という「陸上養殖」など水の応用分野は多彩です。当社は関連事業として「養鶏業」を営んでいます。ブランド名は「大地の卵」、長野県松代町で平飼いの有精卵の育成を行っていますが、鶏に良い卵を産んでもらうためには、良い水を与える事が重要です。また、工業分野では、現在当社では「改質水」の事業に取り組んでいます。改質水は製造業の環境負荷軽減と生産効率向上の両面を実現できると言われています。このように水には沢山の可能性があります。当社事業に、ご関心を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

■ こんな人にオススメ …… 水と環境問題に関心のある人！

■ こんな人が向いている …… バイオニア精神のある人！

## 3. 選考のポイント

①学校でどんな勉強してきたのか ②勉強以外で力を入れてきたこと ③コミュニケーション能力など ④人間性など ⑤その他	①水環境などの勉強や物質工学や環境学などを学んできた人 ③営業に力を入れたいので、コミュニケーション能力は大事です。
--	---

## 4. 採用予定数

### ■新卒採用予定数

文系	一名
理系	1～2名(水処理部門・管工事部門)
その他	一名
「その他」の内訳	

### ■給与・福利厚生

○休日・休暇	年間休日105.5日 (事業部ごとに出勤シフトが変わります)
○給与	190,000円(各種諸手当別)

## 5. 業務形態

### ■主に募集したい部署の「1日のスケジュール」※おおよそ

○始業～お昼まで	始業後からしばらく準備を整え、現場回りに出かけます。
○昼～15:00まで	現場回りやお客様との打ち合わせ等を行います。
○15:00から終業まで	翌日の現場回りの確認やその日の業務報告書の作成を行います。

### ■テレワークの導入について

①すでに導入している ②今後導入を計画している ③今後一部業務に導入を計画 ④導入の予定はない	④今は計画していませんが、今後の課題として捉えています。
--	------------------------------

### ■業務のオンライン化について

①すでに導入している ②今後導入を計画している ③今後一部業務に導入を計画 ④導入の予定はない	③事業を多様化させる意味でも、導入は必要と考えています。
--	------------------------------

## 6. 若手先輩からのメッセージ

正直に言えば若手がないのが実情です。反面先輩がないため、自由な考え方で仕事をやらしてもらえる環境でもあります。自分で考え、実行し、結果を見ながら改善していく、「PDCA」を自由に実践できる環境です。

## 7. 人事担当からのメッセージ

代表の相原です。実は新卒の採用の経験はありません。そのため何をお伝えすればよいのか、わからないのが正直なところですが、環境をベースに新しいことにチャレンジしていきたい思いだけは負けないつもりです！

## 8. 過去3年間の業績

### ■売上高

2018年	467,884千円
2019年	595,642千円
2020年	515,522千円

### ■営業利益

2018年	78,105千円
2019年	2,003千円
2020年	3,074千円

### ■経常利益

2018年	—
2019年	—
2020年	—

### ■純利益

2018年	—
2019年	—
2020年	—

### ■過去3年間の業績についてのコメント

業績はほぼ横ばいですが、利益率が下がり気味です。その点からも新しい事業の柱が必要になってきています。但しこれまでの事業も今後その必要性が高くなる可能性があります。そのため事業の再構築が重要課題です。

### ■自己資本比率

—%